

東レグループ（滋賀） 環境・社会活動報告書 2025



東レグループ（滋賀） 各社

東レ(株)	(株)東レリサーチセンター	東洋実業(株)
東レ・ライクラ(株)	東レテクノ(株)	(株)東レ知的財産センター
東レ建設(株)	(株)東レシステムセンター	東レコムズ滋賀(株)
東レエンジニアリング(株)	東レエンタープライズ(株)	東レアローズ(株)

目 次

- ◆ ごあいさつ p 1
 - ・ 滋賀事業場の概要

- ◆ 環境保全への取り組み p 2～p 9
 - ・ ISO14001登録証
 - ・ 環境方針
 - ・ 水質汚濁防止
 - ・ 産業廃棄物の削減
 - ・ 騒音防止
 - ・ 大気汚染防止と省エネルギーの推進
 - ・ 化学物質の排出・移動量の管理
 - ・ 環境会計

- ◆ 環境に貢献する製品、および製品開発 . . . p 1 0

- ◆ 地域社会とのコミュニケーション . . . p 1 1～p 1 2

- ◆ 安全・防災への取り組み p 1 3～p 1 4

- ◆ 緑化推進 p 1 5

ごあいさつ

東レグループでは、「安全・防災・環境保全」「企業倫理・法令遵守」をはじめとしたCSRの推進を経営の最優先課題として位置づけ、グループ全体の共通認識として浸透させ、社会的責任を果たす企業として業務を推進しております。

当事業場は、1926年に滋賀県大津市に創立して以来、日本最大の面積を有する琵琶湖の恵みを受け、事業活動を行ってまいりました。

現在、原材料の調達から製品の研究・開発、製造、供給、廃棄に至るまでのすべてのプロセスにおいて、ISO14001に基づく環境マネジメントシステムの活用を通じ、廃棄物の削減、省エネルギーの推進、化学物質の排出量削減などの環境目標を掲げ、2050年カーボンニュートラルに向けて環境保全・環境改善について積極的に取り組んでおります。

本報告が、東レグループ滋賀の環境・社会活動を皆さまにご理解いただく一助となれば幸いです。



滋賀事業場長
清水 雄二

滋賀事業場の概要

■所在地 滋賀県大津市園山一丁目1番1号 ■沿革

■敷地面積 約82万m ² (約24.8万坪)	1926年 東洋レーヨン(株)設立
■主な製品	1927年 滋賀工場完成、レーヨン糸初紡糸
＜繊維＞	1959年 ナイロン糸の生産開始*
スエード調人工皮革“ウルトラスエード”	1963年 ポリエステルフィルム“ルミラー”生産開始*
ポリエステル長繊維不織布“アクスター”	1966年 ポリオレフィン発泡体“トーレペフ”生産開始
＜樹脂・ケミカル＞	1971年 人工皮革“エクセーナ”生産開始 (現 登録商標名：ウルトラスエード)
ポリオレフィン発泡体“トーレペフ”	1975年 ポリエステル不織布“アクスター”生産開始
＜電子情報機材＞	1979年 電子材料製品の生産開始
実装材料	1983年 コンポジットの生産開始
エレクトロコーティング剤	1986年 家庭用浄水器“トレビーノ”生産開始
感光性機能材料“レイブリッド”	1989年 高性能クリーナー“トレシー”生産開始*
セラミックス“トレセラム”	1993年 “トレミキシン”生産開始*
有機EL発光材料	1994年 高性能エアフィルター“トレクリーン”生産開始*
＜水処理・環境＞	1996年 T F T用カラーフィルター“トプティカル” 生産開始*
家庭用浄水器“トレビーノ”	
＜医薬・医療＞	2001年 P D Pペースト生産開始*
コンタクトレンズ“プレスオー”・ “プレリーナ”	2008年 ポジ型“フォトニース”生産開始
＜複合材料＞	2012年 有機E L材料新工場生産開始
燃料電池用電極基材	2013年 感光性機能材料“レイブリッド”生産開始
	2019年 未来創造研究センター開所

*印は、国内外の他工場へ移管もしくは収束

環境保全への取り組み

滋賀事業場では、1969年に安全衛生環境委員会を設け、構内関係・協力会社を含めた全従業員で『安全・衛生・防災・環境』の活動に取り組んでおります。

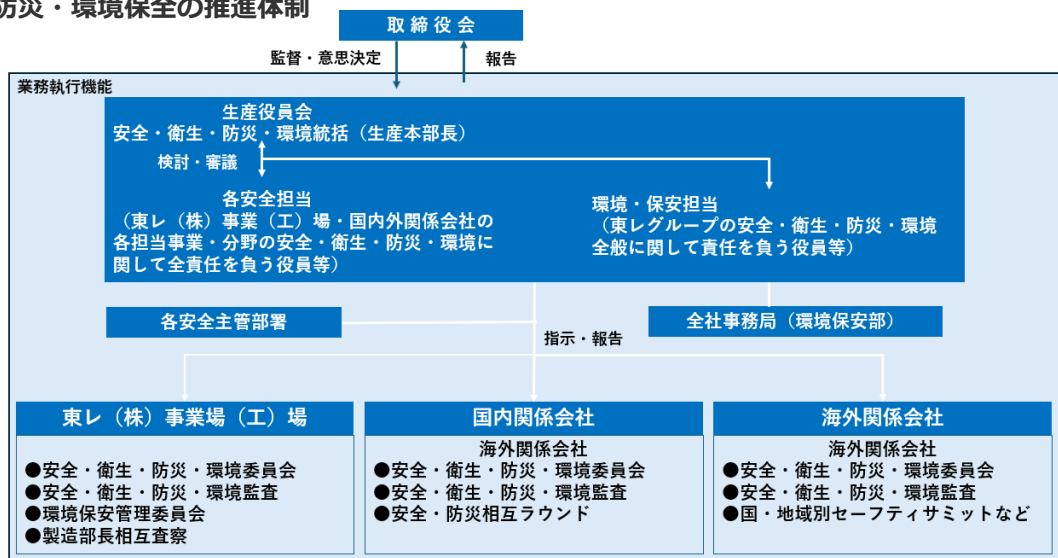
大津市と1976年に公害防止協定を締結し、条例の規制値よりも踏み込んだ自主管理基準値を設け、公害防止のための管理と対策を行ってきました。

また、全社プロジェクトである「レスポンシブル・ケア」「廃棄物削減計画」等に対しても、事業場として積極的に取り組んでいます。

1999年には構内関係会社を含めてISO14001の認証を取得し、環境目的・目標を掲げて活動しています。

さらに、2000年には公害防止協定に替わり環境保全協定を締結しました。今後も環境保全から環境改善へと活動を推進していきます。

安全・衛生・防災・環境保全の推進体制



沿革

1969年	公害委員会（現：安全衛生環境委員会）設立	2002年	「環境管理実施事業所」（大津市）認定
1970年	環境技術課（現：環境保安課）設立	2003年	第2次環境3カ年計画策定、開始
1971年	公害防止技術相談室設立	2006年	発電ボイラーガス化
1972年	全員参加による「園山公園」作り	2007年	第3次環境3カ年計画策定、開始
1973年	環境管理規程、緑化基本方針制定		ガスタービンコージェネレーション設備導入
1974年	瀬田川監視室設置	2009年	(社)滋賀県環境保全協会会長表彰（環境保全優良事業所）受賞 新排水処理設備設置
1975年	滋賀県緑化コンクールで「金賞」受賞	2011年	第4次環境中期計画策定、開始
1976年	公害防止協定締結	2012年	滋賀事業場ゼロエミッション達成
1979年	化学物質安全指針制定	2016年	第5次環境中期計画策定、開始
1981年	エネルギー技術室設置	2017年	(社)滋賀県環境保全協会会長表彰（環境保全優良事業所）受賞
1990年	産業廃棄物削減プロジェクト開始	2018年	「東レグループ サステナビリティ・ビジョン」公表
1991年	地球環境委員会、地球環境研究室設置 工場緑化推進全国大会で「通産大臣賞」受賞	2023年	「サステナビリティ・ビジョン」 2030年度目標引き上げ
1993年	安全・防災・環境監査開始	2024年	新規ガスタービンコージェネレーション設備導入、貫流ボイラー導入
1995年	日本レスポンシブル・ケア協議会に参加		
1998年	国内関係会社安全・防災・環境監査開始		
1999年	廃棄物第2次削減計画策定、開始 ISO14001認証取得、同認証取得支援事業開始		
2000年	環境3カ年計画策定、開始 環境保全協定締結		

ISO14001登録書（適用範囲）

複写

ISO 14001 マネジメントシステム登録証



登録証番号：JQA-EM0527

登録事業者：
東レ株式会社
滋賀事業場
滋賀県大津市園山一丁目1番1号



当機構は、上記事業者の環境マネジメントシステムを審査した結果、付属書に記載する範囲において、下記規格の要求事項に適合していることを証します。

ISO 14001 :2015 / JIS Q 14001 :2015

登録日：1999年 9月 24日
登録更新日：2023年 9月 24日
改訂日：2025年 9月 5日
有効期限：2026年 9月 23日

本登録証の有効性は、当機構までお問い合わせの上、確認することができます。

一般財団法人 日本品質保証機構

東京都千代田区新大塚2-5-1

理事長 石井 裕 晶



本証には付属書がありますので、合わせてご覧ください。



23.05.07501/205

複写

ISO 14001 付属書

登録証番号：JQA-EM0527

1 / 2

登録事業者：
東レ株式会社
滋賀事業場

登録活動範囲：

- 1) ポリエステルフィルム・ポリオレフィン発泡体、繊維補強複合体などプラスチック製品の研究、開発、製造
- 2) 不織布及び合成繊維の研究、開発、製造
- 3) 電子情報材料関連機材、オプティカル製品、エアフィルター製品、超極細繊維織物加工品、家庭用浄水器とその関連製品、医療材料、地球環境関連材料の研究、開発、製造
- 4) 無機材料の開発、製造
- 5) 各種産業用設備・機械・装置・器具の開発、製造

関連事業所：

- ・東レ・ライクラ株式会社
滋賀県大津市園山一丁目1番2号
[ポリウレタン弾性繊維の研究、開発、製造]
- ・東レエンジニアリング株式会社
滋賀県大津市園山一丁目1番1号
[各種産業用設備・装置・機械・器具の設計及び製造並びに滋賀事業場内の施工管理]
- ・東レ建設株式会社
滋賀県大津市園山一丁目1番1号
[滋賀事業場内の建屋新築・増築・改修・保全工事管理]

登録日：1999年 9月 24日
登録更新日：2023年 9月 24日
改訂日：2025年 9月 5日
有効期限：2026年 9月 23日

本登録証の有効性は、当機構までお問い合わせの上、確認することができます。

一般財団法人 日本品質保証機構

理事長 石井 裕 晶



23.05.07501/205

複写

ISO 14001 付属書

登録証番号：JQA-EM0527

2 / 2

- ・株式会社 東レリサーチセンター
滋賀県大津市園山三丁目3番7号
[受託分析業務]
- ・東レテクノ株式会社
滋賀県大津市園山一丁目1番1号
[環境分析、環境調査、材料分析]
- ・株式会社 東レシステムセンター
滋賀県大津市園山一丁目1番1号
[コンピュータによる情報処理業務、ソフトウェアの開発]
- ・東レコムズ滋賀株式会社
滋賀県大津市園山一丁目1番1号
[滋賀事業場内の作業請負と各種事業]

登録日：1999年 9月 24日
登録更新日：2023年 9月 24日
改訂日：2025年 9月 5日
有効期限：2026年 9月 23日

本登録証の有効性は、当機構までお問い合わせの上、確認することができます。

一般財団法人 日本品質保証機構

理事長 石井 裕 晶



23.05.07501/206

環境方針

〔環境方針〕

1. 環境関連の法規制および事業場が同意した地域、お客様、その他の要求事項を遵守します。
2. 事業活動による環境負荷を低減するため、化学物質管理強化、省エネルギー、廃棄物の削減などに取り組むと共に、環境保全に貢献できる製品やサービスの提供を目指します。
3. 環境目標を設定し、定期的に見直しを行い、環境パフォーマンスの継続的な改善を図ります。
- 4.琵琶湖からの恵みを受ける地域であることを認識し、水質維持管理に努めます。
また、地域に根差した緑地整備に努め、環境保全活動へ積極的に参画します。
これらを通じ、地域における生物多様性の保全に貢献します。
5. この環境方針は、事業場で働く人々に周知徹底するとともに、一般に公開します。

制定：1999年2月1日 改訂：2025年3月1日
滋賀事業場長

環境目標		
1	廃棄物排出により生じる環境影響の最小化	○総廃棄物量の削減 ○単純処分廃棄物量の削減 ○ゼロエミッション達成（単純処分率1.0%以下）
2	省エネルギーの推進による地球温暖化防止	○エネルギー費用の削減 ○CO2排出削減
3	法順守の継続および環境異常発生 of 未然防止	○環境に関する異常件数の削減 ○是正・予防処理の確実な実行
4	有害物質の排出により生じる環境影響の最小化	○化学物質使用施設の適切な管理 ○マイクロプラスチック漏出防止対策の実行 ○法・その他から要求される有害物質の削減
5	本来業務活動の推進による環境負荷活動低減	○有益な環境側面関連する取り組みについて各部門で設定

環境トピックス

当事業場では、1999年9月の環境事故を風化させないために、9月を「環境管理強調月間」として毎年活動しています。その一環として「環境改善事例発表会」を開催し、優れた改善事例を表彰するとともに、各部門から他部門へ水平展開出来る事例等について発表を行い、一人ひとりが環境保全意識の重要性を再認識し、環境事故ゼロへの誓いを新たにしています。

滋賀事業場「環境の日」

1999年9月13日、研究東地区にある製造工程において、**強酸性の洗浄水を近くの雨水溝に流してしまい**、その水が狐川に流入して魚が大量に死亡するという排水事故が発生しました。

この事故は、新聞やテレビなどマスコミでも報道され、東レの信用を著しく失墜させました。

排水事故を風化させないために・・・

- ・毎年9月13日「環境の日」
- ・毎年9月「環境管理強調月間」

環境事故を風化させないための教育を実施（資料一部抜粋）

水質汚濁防止

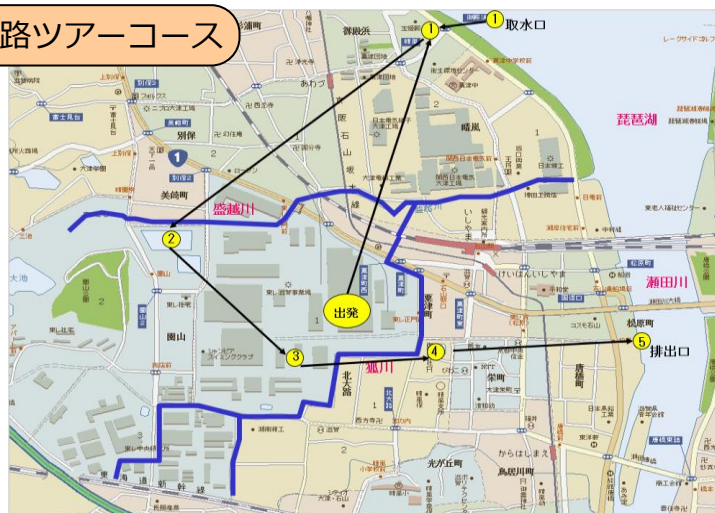


排水の監視
(魚の動きによる有害物質の検知)

当事業場では、琵琶湖の水を工業用水として購入し、事業活動で利用した後、必要な処理を行い、瀬田川に排出しています。

排水は、主な監視ポイントでpH、油、濁度、有害物質などを連続監視し、規制値より低い値で維持管理していますが、さらにプロセスの見直し、処置設備の効率的な運転に努めていきます。

水経路ツアーコース



また、工場で使用する水に対する従業員の意識を高めるため、琵琶湖からの供給、場内での処理、瀬田川への排出を自分の目で見て確かめる「水経路ツアー」を行っています。

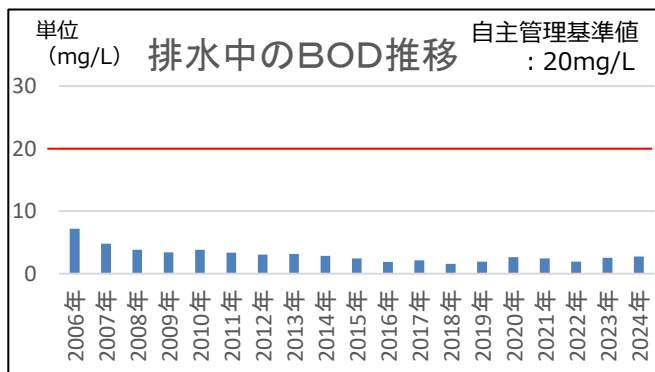


◆ 自社技術を使用した排水処理設備の設置運転 ◆

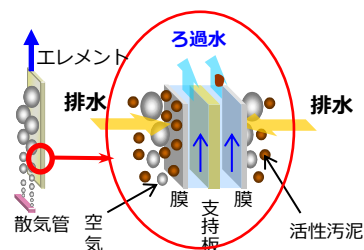
排水処理能力の不足による臭気発生を防止し、処理後の水質をより良くするため、2009年から**自社技術**を用いた設備を設置し排水を処理しています。この設備は微生物の動きを利用し、MBR法 (Membrane Bio-Reactor 膜分離活性汚泥法) を採用した排水浄化システムです。

MBRの膜は東レ製で、従来の活性汚泥法より省スペースで、より良好な処理水が得られます。

＜ 工場排出水の水質推移 ＞



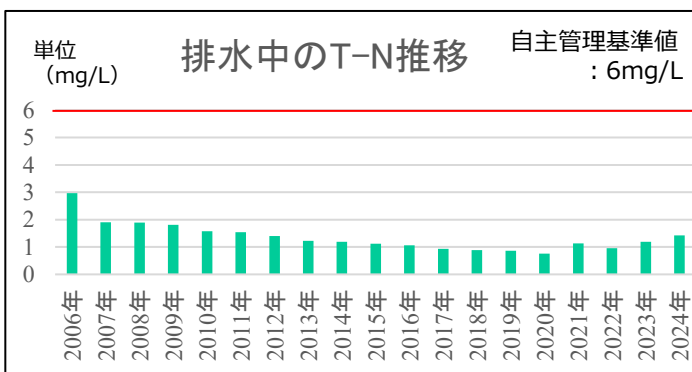
MBR排水処理設備



MBR膜濾過のイメージ

Toray MBR (URL)

[https://www.water.toray/ja/products/mbr/pdf/TorayMBR_Brochure_JP\(240828\).pdf](https://www.water.toray/ja/products/mbr/pdf/TorayMBR_Brochure_JP(240828).pdf)



■用語、解説

- ・BOD(生物化学的酸素要求量):最も一般的な水質指標.有機物などを、微生物が分解に必要とする酸素量。値が大きいほど、水質は悪化傾向である。
- ・T-N(全窒素):水中に含まれる窒素化合物の総量。富栄養化の目安項目。

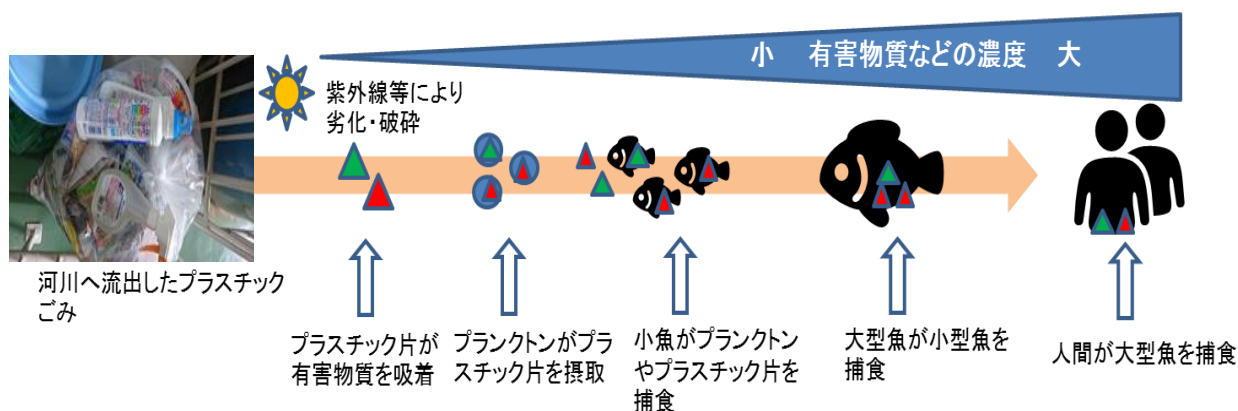
水質汚濁防止

◆マイクロプラスチック問題への取り組み◆

現在、マイクロプラスチックごみが、世界で注目され問題視されています。大型プラスチックごみは紫外線の影響等により劣化し、細かく破砕されることで生物が餌と誤認し、補食されます。このような微量な粒子は、生物の体内に取り込まれることで消化ができず、生物の体内にプラスチック製品や有害物質が蓄積される可能性があります。

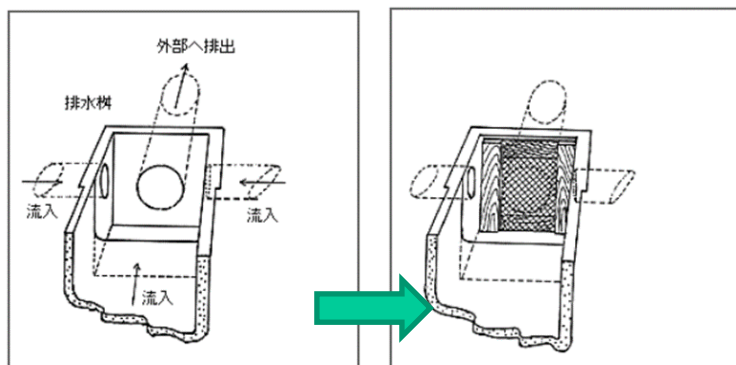
当事業場においてもマイクロプラスチック問題に、早期に対応していく必要があり、2020年度より環境活動方針に定め、プラスチック類の漏出防止対策を推進しております。

生態系へのダメージ（生物濃縮）※イメージ

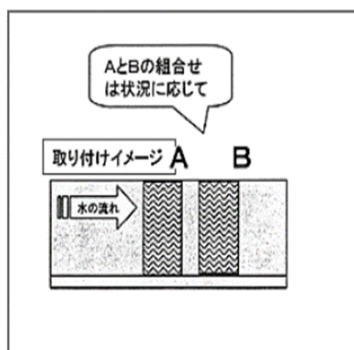


◆排水路へのプラスチック類漏出対策◆

例) フィルターの1重化



例) フィルターの2重化



プラスチック漏出懸念のある排水路へ漏出防止金網(目開き1~2mm)を設置し、漏洩防止策の展開を開始しております。

◆監視測定◆



事業場総合排水排水管からサンプル水を吸い上げ、プラスチック類の混入量を定期的に調査しております。

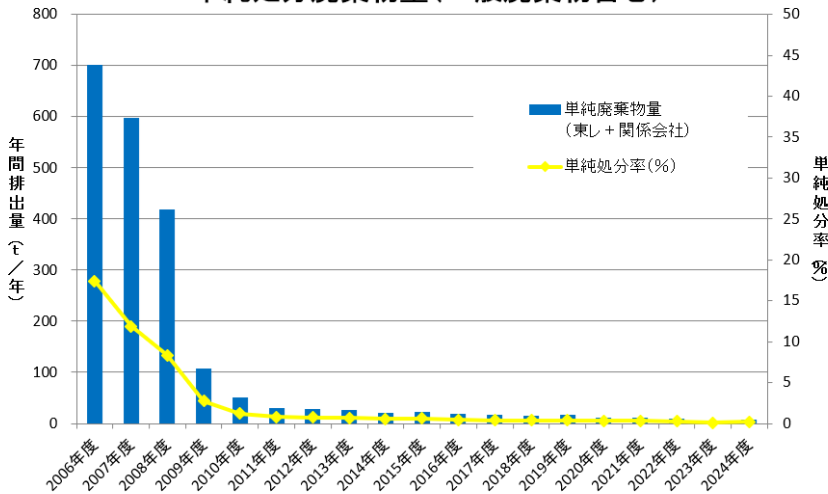
漏出対策引用元：日本プラスチック工業連盟

産業廃棄物の削減

東レグループでは、1990年度から「廃棄物削減プロジェクト」をスタートし、3～4年単位で削減目標を定め、廃棄物の有効利用や発生量の削減に努めてきました。

2011年度からは、ゼロエミッション（※）などの目標を掲げ、さらなる分別の強化、工程の改善、有効利用の検討などの活動を継続的に推進し、以降毎年、ゼロエミッションを継続して達成しています。※単純処分廃棄物量（埋立、単純焼却など）が総廃棄物発生量の1%以下

単純処分廃棄物量（一般廃棄物含む）



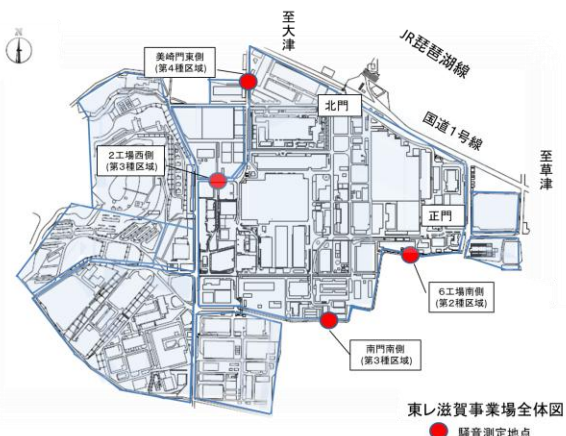
産業廃棄物はセメント原料や路盤材として使用されます。

廃棄物の処理

騒音防止

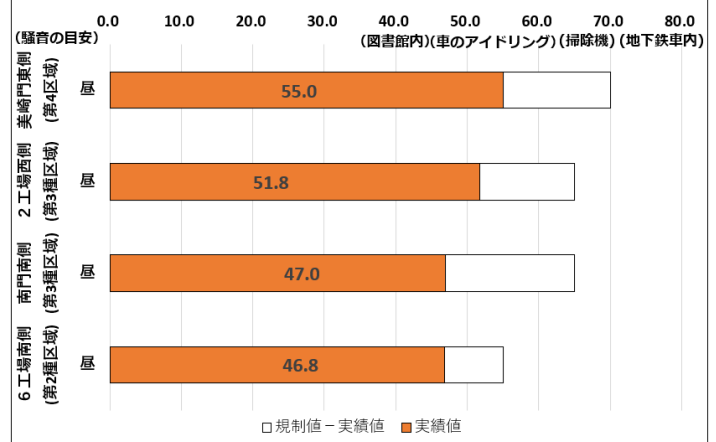
滋賀事業場は住宅街に隣接しており、騒音により地域住民の生活環境に影響を及ぼすことが無いよう、周辺4箇所で1回／年、騒音測定を実施し、大津市条例（大津市生活環境の保全と増進に関する条例）に基づいた規制値を下回るよう管理しています。今後も継続して測定を実施し、適切な対策を講じることで快適な生活環境の保全に努めていきます。

■滋賀事業場 騒音測定地点レイアウト



2024年度騒音測定結果

デシベル (dB)



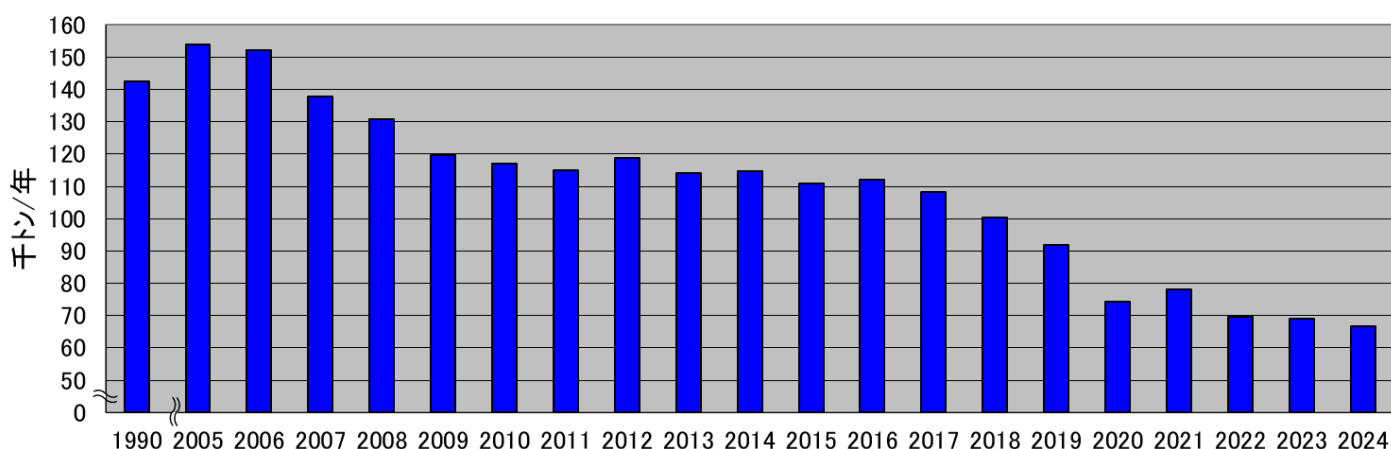
大気汚染防止と省エネルギーの推進

滋賀事業場では、2008年に都市ガスを燃料とした高効率のコージェネレーション設備を導入し、CO2排出量削減と省エネルギーを推進してきました。2023年に更新時期を迎え、事業場の現状蒸気量に見合ったコージェネレーション設備(1台)と貫流ボイラー設備(7台)を2024年1月より稼働開始し、負荷に応じたきめ細やかな運転により、更なるCO2排出量削減と省エネに貢献しています。



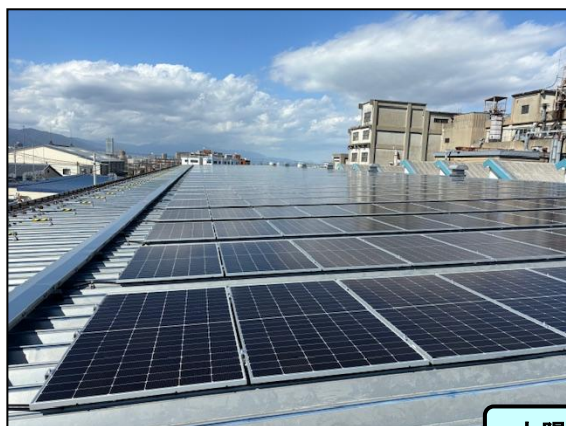
コージェネレーション設備

CO2排出量



太陽光発電設備の導入

「東レグループ サステナビリティ・ビジョン」で公表しているCO2排出量削減目標を達成するため、滋賀事業場では事業場内通路用の照明や、研究所建屋の小規模電源等に太陽光発電設備を導入しています。2023年度に東レ国内工場では初めてPPA方式(Power Purchase Agreement)を採用した太陽光発電設備を事業場内生産工場建屋屋上へ設置し、2024年3月末より発電を開始しました。今後も建屋屋上への太陽光発電設備の増設を計画しており、2025年度も建屋上に新規設置し、発電を開始予定です。これからもCO2排出量削減目標達成のため、本活動を継続していきます。



太陽光パネル設置状況

化学物質の排出・移動量の管理（PRTR）

当事業場（構内関係会社含む）で扱うPRTR法（※）の2024年度の対象物質は、昨年度対比2物質のみ増加し合計14物質でした。***14物質のうち2物質は法改正に伴う増加**
化学物質の環境中への排出量については、削減方針を定め計画的な削減を進めています。

[単位：t/年]



化学物質の排出削減対策
（溶剤回収装置）

	物質名称	排出量			廃棄物 移動量
		大気	水域	自社理 立・土壌	
東 レ （ 株 ）	銀及びその水溶性化合物	0.00	0.00	0.00	0.00
	N,N-ジメチルホルムアミド	0.02	0.00	0.00	0.78
	トルエン	0.45	0.00	0.00	7.31
	アセトン及びその化合物	0.00	0.00	0.00	0.47
	メチルピス(4,1-フェニル)=ジイソシアネート (メチルピスフェニルイソシアネート)	0.00	0.00	0.00	4.01
	ニトロベンゼン	0.00	0.00	0.00	2.18
	クロロベンゼン	0.09	0.00	0.00	2.25
	4,4'-ジメチルフェニル	0.00	0.00	0.00	0.26
	N,N-ジメチルホルムアミド	0.00	0.00	0.00	1.13
	メチルイソブチルケトン	0.11	0.00	0.00	2.94
	N-メチル-2-ピロリドン	0.03	0.00	0.00	133.96
	鉛及びその化合物	0.04	0.00	0.00	0.00
	フェノール	0.00	0.00	0.00	3.14
	クレゾール	0.00	0.00	0.00	0.00
構 内 関 係 会 社	エチルアミン	0.00	0.00	0.00	0.01
	N,N-ジメチルホルムアミド	0.29	0.00	0.00	0.00
	N,N-ジメチルホルムアミド	12.43	0.00	0.00	17.44
	2,6-ジターシャリブチル-4-クレゾール	0.00	0.00	0.00	0.00
	メチルピス(4,1-フェニル)=ジイソシアネート	0.00	0.00	0.00	0.00

※PRTR：人の健康や生態系に有害な恐れがある化学物質が、環境中へどれくらい排出しているか、廃棄物として移動しているかを事業所ごとに届出し、その結果を公表する仕組みのことです。
PRTRという言葉は、「Pollutant Release and Transfer Register」の略です。

環 境 会 計

東レでは1999年度から、環境保全・省エネルギー・リサイクルなどに関する投資・コストを集計する環境会計を導入しています。当事業場における2024年度の実績は、環境投資額が約9,470万円、環境関連費用が約3億7千4百万円となりました。

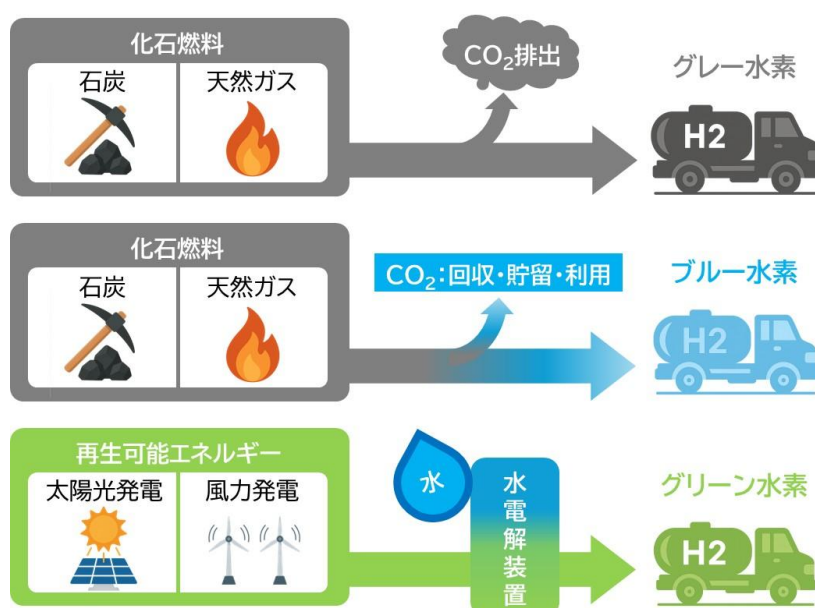
項 目	内 容	投資額 (百万円)	費用 (百万円)
公害防止コスト	大気	0.0	10.0
	水質	57.3	97.0
	騒音・振動	2.8	64.0
	緑化	0.0	0.0
	悪臭・その他	30.3	16.0
地球環境保全コスト	省エネ、地球温暖化防止	4.3	-
資源循環コスト	廃棄物、再資源化、処分	0.0	139.0
管理活動コスト	間接労務費		
	I S O 認証維持	-	48.0
	環境広報・教育		
合 計		94.7	374.0

環境に貢献する製品、および製品開発

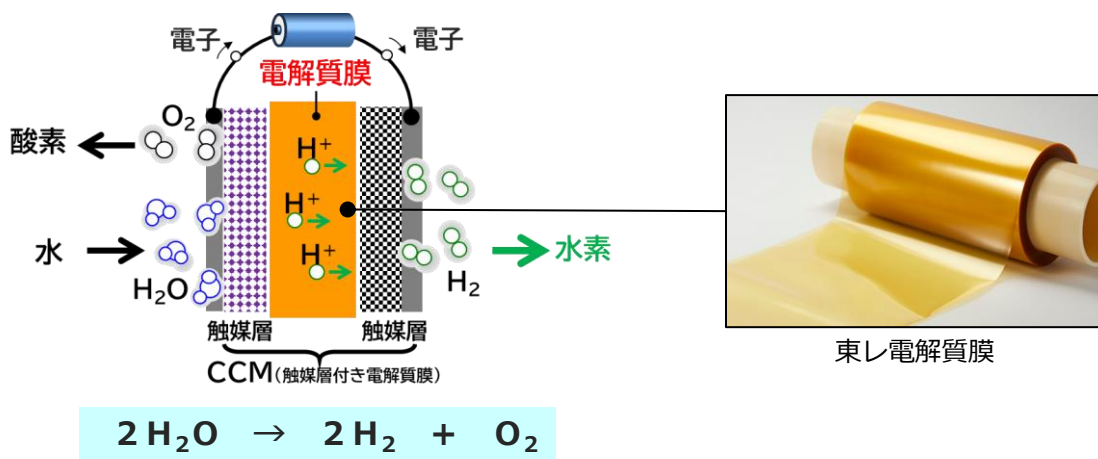
当事業場では、再生可能エネルギー由来の電力を利用して水を電気分解し、水素を製造する水電解装置や水素を燃料とし化学エネルギーを電気エネルギーに変換する燃料電池などの中核部材として、幅広い分野で用いられる**固体高分子電解質膜**（以下、電解質膜）を開発・製造しています。本製品は、高い水素イオン（H⁺）伝導性と低ガス透過性を備え、カーボンニュートラル社会の実現に貢献します。

◆ 再生可能エネルギーによるグリーン水素の製造

水素は生成方法により3種類（グレー水素、ブルー水素、グリーン水素）に大別されますが、再生可能エネルギーにより生成され、CO₂を排出しない**グリーン水素**の拡大が脱炭素社会の実現に向け注目されています。グリーン水素の生成には水の電気分解を行うための装置（水電解装置）が利用されており、当社電解質膜を搭載した水電解装置の稼働が始まっています。



水電解装置とは、電気エネルギーにより水を水素と酸素に分解し、高純度な水素を効率よく製造する装置です。そのなかで当社の電解質膜が重要な役割を果たしています。



地域社会とのコミュニケーション

環境美化、施設見学などを通じて、地域社会とのコミュニケーションの充実を図っています。



地域の清掃

「びわ湖を美しくする運動」の一環として毎月事業場周辺の河川や道路の清掃を行っています。



びわこクリーンキャンペーン

毎年、秋に瀬田川周辺の清掃活動を行っています。



施設見学

近隣小学校の施設見学受け入れを実施しています。

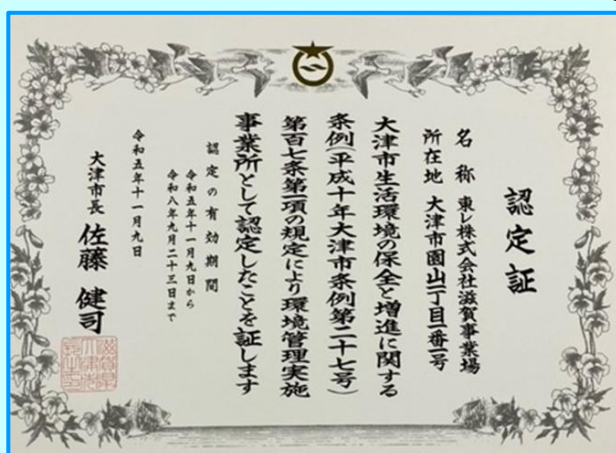


大津警察署の訓練に協力

大津警察署代替警備本部設置訓練に協力しています。

◆ 大津市環境管理実施事業所認定 ◆

大津市生活環境の保全と増進に関する条例第107条第1項の規定により、一定の基準に適合する事業者の申請に基づき、大津市長が認定するものです。



地域社会とのコミュニケーション

●女子バレー 東レアローズバレーボールクラブ滋賀



バレーボール教室

女子アローズによるバレーボール教室を地域の子供達に行っています。

東レアローズバレーボールクラブ滋賀の活躍 [歴史]

2000年	ユニチカバレー部を継承する形で創部
2002年	第51回黒鷲旗優勝
2004年	第53回黒鷲旗優勝
2008年	平成19年度天皇杯・皇后杯優勝
	2007/08 Vリーグ優勝
2009年	2008/09 Vリーグ優勝
	第58回黒鷲旗優勝

2010年	2009/10 Vリーグ優勝
	第59回黒鷲旗優勝
2011年	平成23年度天皇杯・皇后杯優勝
2012年	2011/12 Vリーグ優勝
2019年	第68回黒鷲旗優勝
2022年	第70回黒鷲旗優勝
	天皇杯・皇后杯準優勝
2024年	東レアローズ株式会社設立

●その他競技（ボート部、柔道部、剣道部）



その他社技として、活動しているボート部、柔道部、剣道部も優秀な成績を残しつつ、それぞれ地域貢献として、子供達への指導などを行っています。

安全・防災への取り組み

東レグループでは、安全・防災・環境保全を最優先課題としており、日常の安全活動に加え、毎年7月の「ゼロ災大会」の開催や、新入社員・職長・管理者など層別の教育、酸欠特別教育、疑似体験装置を用いた危険体感など、様々な安全活動を行い、従業員の安全意識の向上と安全な職場づくりを行っています。

■事業場ゼロ災大会

当事業場では、全国安全週間に合わせて毎年ゼロ災大会を開催し、各部署の安全活動を共有するとともに、安全スローガン(*)を事業場全体で徹底する契機としています。



主催者挨拶

*2025年 安全スローガン

「安全最優先 ゼロ災追求

－ルール遵守で 基本の徹底－」

■安全に対する教育

疑似体験教育として、各装置（回転体など）の危険性を模擬的に再現した疑似体験装置を用いて教育を実施することで、従業員の危険感受性向上に努めています。



疑似体験教育風景

■安全・防災に関する主な表彰・記録

- ・1999年 優良危険物関係事業所（消防長官賞）
- ・1999年 第1種無災害記録（厚生労働省 記録証）
- ・2000年 第2種無災害記録（厚生労働省 記録証）
- ・2003年 第1種無災害記録（厚生労働省 記録証）
- ・2004年 第2種無災害記録（厚生労働省 記録証）
- ・2004年 優良自衛消防隊表彰（滋賀県）
- ・2009年 優良事業所（(社)滋賀県防火保安協会連合会長表彰）
- ・2010年 第1種無災害記録（厚生労働省 記録証）
- ・2011年 第2種無災害記録（厚生労働省 記録証）
- ・2012年 第3種無災害記録（厚生労働省 記録証）
- ・2015年 第1種無災害記録（厚生労働省 記録証）
- ・2016年 第2種無災害記録（厚生労働省 記録証）
- ・2017年 第3種無災害記録（厚生労働省 記録証）
- ・2018年 第4種無災害記録（厚生労働省 記録証）

優良自衛消防隊表彰（滋賀県）



安全・防災への取り組み

■ 防災に関する教育訓練

工場の中ではさまざまな原料、薬品、製品などを取り扱っています。私達は、万一の火災・爆発に備え、日常的な管理・点検を行うとともに、定期的に教育や訓練を行い、従業員の知識と技術の向上に努めています。



大規模地震を想定した総合防衛訓練

公設消防(大津市南消防署)の指導のもと自衛消防隊の初期消火訓練



事業場内被害状況の集約訓練

防災教育：爆発実験



危険物などがどのような状態で着火するかなどを実際に実験する教育

起震車による地震体験



公設消防(大津市南消防署)のご協力のもと
起震車による地震体験を実施

今後発生が予想されている大地震への心構えや身の守り方を学んでいます

緑 化 推 進

滋賀事業場では、東レグループ緑化基本方針に基づき生物多様性に配慮した樹林の保全や、周辺環境との調和に配慮し、緑化を推進しています。事業場西側に広がる園山公園緑地は従業員の憩いの場となっていることに加え、地域の方々にも開放し、親しまれています。また、工場立地法で求められる緑地面積率は20%を超えており、これを維持することで緑が多く自然豊かな事業場を目指しています。

■東レグループ緑化基本方針

- A. 生物多様性に配慮した自然生態に近い樹林方式で緑化を進め、地域の自然環境保全にも貢献します。
- B. 工場敷地境界部分を優先的に樹林方式で緑化し、「森に囲まれた工場」を目指します。
- C. 緑地面積率は各国・地域の規制や周辺環境との調和に配慮し、各工場毎に目標を設定して緑化を推進します。

■園山公園緑地（自然公園型緑地）の保全

園山公園緑地（自然公園型緑地）は従業員の憩いの場となっていることに加え、地域の方々にも開放し親しまれている場所であり、今後も良好な状態に保ち、地域の自然環境保全に貢献します。



「しが生物多様性取組認証制度」で、当事業場が最高ランクの3つ星を取得しました。



〈 内容に関するお問い合わせ先 〉

東レ株式会社 滋賀事業場
環境保安課

TEL:077-533-8044

FAX:077-533-8680

総務課

TEL:077-533-8001

FAX:077-534-5210

東レグループCSR

URL : <https://www.toray.co.jp/sustainability/stance/>